



MOOC 時代の大学教育改善

Advancing Higher Education in the Age of MOOC

「人材・教育システムの国際化」、「産業界のニーズに対応した社会人の学び直し機会の拡大」、「大学教育の質保証・向上」、「教育情報の公開」、「教育イノベーションの創発」など、我が国の高等教育における喫緊の重要課題・目標に取り組むにあたり、インターネットやマルチメディア等のテクノロジーの教育利用は、大学における教育や学習を革新し進展させる大きな可能性を孕んでいる。MOOC（大規模オープンオンラインコース）や OCW（オープンコースウェア）などに代表される新たな教育技法や教材と既存の授業や学習方法を、どのように相乗的・相互補完的に活かしていくか。また、学生による主体的・能動的・実質的な学習を実現するために、教授学習活動の可視化、分析・評価を行う方法、そしてその実践的な適用などに国内外の大学の関心が高まっている。

しかし、このような教育の進展を支えるための包括的な支援体制は、日本の大学において極めて乏しく未発達であり、必要とされるキャパシティづくりが急務である。本公開研究会・国際シンポジウムでは、ハーバード大学の MOOC プロジェクト HarvardX と世界的に著名な Derek Bok Center for Teaching and Learning の Faculty Director である Robert A. Lue 教授を基調講演者としてお招きし、同大学の先進的な試みや成果、これまで我が国の大学で推進されてきた教育制度改革や FD（ファカルティ・ディベロップメント）を踏まえ、教員の教育に対する情熱や学生の学ぶ意欲に基づいた真の教育イノベーションや教育改善のための具体的な方策を探索し、その可能性や課題について理解と議論を深めたい。

Professor Robert A. Lue (ロバート・ルー教授)

Robert A. Lue 博士は、ハーバード大学の HarvardX と Derek Bok Center for Teaching and Learning の Faculty Director であり、分子・細胞生物学部の教授を務めている。同大学では、1988 年より教鞭を取り、生命科学教育プログラムのディレクターとしてもハーバード大学の教育の質向上とオンライン学習等を活用した世界展開に貢献してきた。



2015 年 1 月 19 日 (月)

13:30 ~ 17:20 (受付 13:00 ~)

京都大学 芝蘭会館 (稲盛ホール)

〒606-8302 京都府京都市左京区吉田牛ノ宮町 11-1 (<http://www.shirankai.or.jp/>)



アクセス

関西国際空港より京都駅へ JR 関空特急「はるか」で約 75 分

京都市バス

JR 京都駅より市バス D2 のりば (206)
阪急河原町駅、京阪祇園四条駅より (201)(31)
いずれも京大正門前下車徒歩約 2 分

京阪電車

出町柳駅下車徒歩約 15 分
* 駐車スペースがありませんので、
公共交通機関の使用をお願い致します。

参加費無料 / 同時通訳あり / 定員 150 名 (先着順)

申込方法: 下記 URL よりお申込み下さい

http://www.highedu.kyoto-u.ac.jp/apply_form/20150119WorkShop/mail_form/mail_form.html

MOOC 時代の大学教育改善

Advancing Higher Education in the Age of MOOC

■セッション1 講演

13:30 開会挨拶 北野 正雄（京都大学理事・副学長）

13:35 基調講演 Professor Robert A. Lue (Faculty Director, HarvardX and of the Derek Bok Center
for Teaching and Learning, Harvard University)

「大学のデジタル革命」 “The Digital Evolution of the University”

MOOC の出現は、「テクノロジーや電子教材が教育の可能性をどのように変革できるか」について、大学に再考を促す絶好の機会を生みだしてきた。MOOC は、テクノロジーを利用した教育の可能性を示す兆候の一つに過ぎないが、既存の対面学習 (“face-to-face learning”) 中心の大学教育改善のあり方を変え始めている。HarvardX は、ハーバード大学と MIT（マサチューセッツ工科大学）が中心となって創設した非営利の MOOC 機関である edX と連携しつつ、このような機会を捉えるためのハーバード大学の全学的・戦略的な取組であり、先進的テクノロジーの教育的利用と教員による教育・学習イノベーションを一体化させることによって、既に顕著な成果を上げつつある。本基調講演では、この二年半にわたり、HarvardX と同大学の Teaching & Learning Center である Derek Bok Center が、ハーバード大学における教育改善・教育改革を、オンライン教育とキャンパスでの授業を通じて、どのような新たな発想と方法によって推進しているかを紹介し議論する。

14:35 講演 飯吉 透（京都大学理事補・高等教育研究開発推進センター長・教授）

「京都大学における教育イノベーションと教授・学習支援の新たな可能性」

“New Possibilities of Educational Innovation and Teaching and Learning Support at Kyoto University”

15:05 休憩

■セッション2

15:20 話題提供

美濃 導彦（京都大学情報環境機構長・学術情報メディアセンター教授）

竹村 治雄（大阪大学全学教育推進機構企画開発部長・教育学習支援センター長・
サイバーメディアセンター教授）

■セッション3

15:50 パネルディスカッション

司会：松下 佳代（京都大学高等教育研究開発推進センター教授）

パネリスト：Robert A. Lue、飯吉 透、美濃 導彦、竹村 治雄

17:20 閉会

主催：京都大学高等教育研究開発推進センター

協賛：関西地区 FD 連絡協議会

後援：京都大学 FD 研究検討委員会

問い合わせ先：京都大学高等教育研究開発推進センター事務室

(550center@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp)